

作成：平成 18 年 7 月 18 日

修正：平成 30 年 5 月 8 日

送信したメールが相手に届かない場合の対処

1. メールが届かない原因

送信したメールが相手に届いていないと分かった場合、原因として主に以下のようなことが挙げられます。

- 1) メールアドレスが間違っている
- 2) あて先側の迷惑メール対策機能
- 3) 送信した相手のメールボックスの容量が制限値を超えている
- 4) メールの遅延
- 5) メールサーバの障害

この順番は、メールが届かないトラブル時の確認順序です。

また、上記とは別の特例として、以下のような場合があります。

- 6) メールアドレスが電子メールなどについて定められている基準(RFC)に反したものになっている(スマートフォンのメールアドレスで主に見受けられます)

2. メールが届かなかった時に確認する内容

- 1) メールアドレスが間違っている

入力したあて先メールアドレスに問題がないか確認してください。

入力したあて先が間違っていて、存在しないメールアドレスになっている場合は、エラーのメールが Mail Delivery System (メールサーバのプログラム。本学の場合はアドレスが <MAILER-DAEMON@cc.kyoto-su.ac.jp> のもの)から送られてきます。

メールアドレスが間違っているときに届くエラーについては、「コンピュータ環境の使い方」の「送信できずに返ってくるエラーメールについて」に代表的な例を掲載していますのでご参照ください。

2) あて先側の迷惑メール対策機能

迷惑メール対策機能は便利な機能ですが、設定次第では必要なメールまで受信しなくなることがあります。

相手が迷惑メール対策機能を有効にしている場合は、送信するメールが届くように設定してもらおうよう、連絡してください。

迷惑メール対策機能にもいろいろな種類があります。どの部分でメールを拒否するように設定されているか分からない場合は、一時的に迷惑メール機能を無効にもらい、順に拒否する設定を追加してもらいながらメールを送信してください。

注意

迷惑メール対策機能が原因で相手に届かなかったときに、迷惑メール対策機能の設定によってはエラーのメールが送られてきません。

エラーメールが送られてこない場合でも相手に届いていない可能性がありますのでご注意ください。

3) 送信した相手のメールボックスの容量が制限値を超えている

1) の場合と同じく、この場合もエラーのメールが Mail Delivery System から送られてきます。

この場合は、メールボックスの容量が制限値に達していることを、メールとは別の手段で相手に連絡してください。

メールボックスの容量が制限値を超えているときに届くエラーについては、「コンピュータ環境の使い方」の「送信できずに返ってくるエラーメールについて」に代表的な例を掲載していますのでご参照ください。

4) メールの遅延

サーバ・ネットワーク環境によりメールの遅延が発生している可能性もあります。

1) ～ 3) 以外の何らかの問題でメールが送信できなかった場合、本学では初回送信時から1日間再送信を続けます。それを超えても送信できなかった場合、送信者に送信できなかった旨のメールを返信します。

そのため、メールを送信してから相手にメールが届いていないと思われる場合、1日ほど様子を見て下さい。

5) メールサーバの障害

それでもメールが届かず、エラーメールの返信もなければサーバ自体に問題がある可能性もございますので情報センターにご相談ください。

6) メールアドレスの RFC 違反

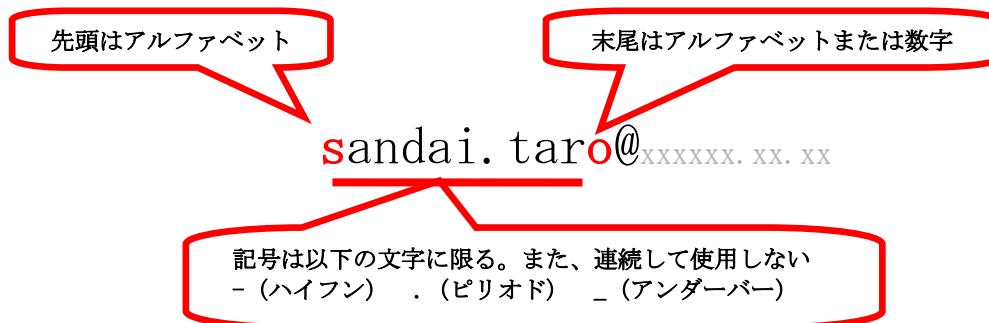
メールアドレスが RFC（電子メールなどについて定めたインターネットに関する技術の基準）に反しているため、メールが届かない。

以下のようなメールアドレスを設定している場合、メールが送信できない場合があります。

アドレス	原因
.xxxxx@xxxx.xx.xx	. (ピリオド) から始まっている
xx..xx@xxxx.xx.xx	. (ピリオド) を連続して使用している
xxxxx.@xxxx.xx.xx	@の直前に. (ピリオド) を使用している
xxx;xx@xxxx.xx.xx	認められていない記号を使用している

主に携帯電話で利用しているメールアドレスで違反が見受けられます。

以下に従ってメールアドレスを設定すると、トラブルを避けることができますⁱ。



ⁱ トラブルを回避するための一例であり、この他にも準拠するアドレスはあります